

伝統と現代の魅力をつなぎ新たな江東区へ

地下鉄8号線(有楽町線) 豊洲～住吉間の延伸事業着手へ



**開業目標は
 2030年代半ば**

区内外へのアクセス性向上

- 住吉駅 (都営新宿線、半蔵門線)
- 東陽町駅 (東西線)
- 豊洲駅 (有楽町線、ゆりかもめ) が一本の路線で結ばれます

2つの中間新駅を設置

- 豊洲～東陽町間 (左図 **新駅①**)
 - 東陽町～住吉間 (左図 **新駅②**)
- ※新駅の名称は決まっていません

掲載している情報は4月1日時点のものです。最新の情報はお問い合わせください。

※上記の内容は東京メトロおよび国土交通省発表資料を参考に区が作成

区の更なる一体感を育む新たなまちづくりを始動します



江東区長
 山崎 孝明

本区の長年の悲願である地下鉄8号線の延伸が、2030年代半ばの開業を目指し、ついに事業着手されることとなりました。区民や区議会の皆様をはじめとした多くの方のお力添えなしには実現しなかったことであり、これまでご尽力いただいた全ての方々に深く感謝申し上げます。

本区の新たなまちづくりを始動させる二つの中間新駅も整備されることが決まり、大変嬉しく思うと同時に安堵しておりますが、この度の鉄道事業許可はゴールではありません。地下鉄8号線の延伸について、区として全力で事業を後押しし、1日も早い開業に繋げていくことはもとより、その整備に合わせて沿線地域のまちづくりをしっかりと進め、整備効果を区全体に広めていくことが今後の区の重要な責務となります。特に、本路線整備がもたらす区内南北移動の所要時間の大幅な短縮という効果を生かして、伝統ある既成市街地と開発が進む臨海部の地域間の交流や連携を深め、区の更なる一体感を育み、江東区民であることの喜びと誇りを持てるまちづくりを進めてまいります。区民の皆様には、これから更なる発展を遂げる江東区を楽しみにしていただくとともに、本路線の整備やまちづくりに対して、引き続きお力添えをいただけますようお願い申し上げます。

